

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	千葉剛成
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分	3630
事務事業名	4309 公民館活動事業	
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課	
施 策	04011800 生涯学習の機会充実	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費
	事業	020000 公民館活動事業
事業目的		事業概要・効果
少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるための事業を推進する。		市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、市民学園や成人講座などの各種講座を開催する。また、事業推進にあたっては文化芸術協会、公民分館をはじめとした各種団体と連携を図ることも視野に入れる。 地域づくりを進めるには、住民自らが主体性を持ち活動することが求められる。公民館の講座や事業を通じて市民が得られる達成感や喜びが、市民共創の地域づくりへの力となることが期待できる。

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市民学園の開催 文化芸術講座、マイ・ノート活用講座等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会の事業の実施 各種講座の実施等	市民学園の開催 文化芸術講座、おでかけ健康教室等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援 各種講座の実施等
平成29年度 実績	平成30年度 実績
市民学園の開催 文化芸術講座、おでかけ健康教室等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり	市民学園の開催 文化芸術講座等・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
市民学園の開催 文化芸術講座、マイ・ノート活用講座等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術講座等・他課との連携事業の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり ・組織改正に伴う事業等の再検討。

指標名	中央公民館・地域公民館が主催する講座				
算式	階層別講座、教養講座、国際化講座、地域・まちづくり講座延参加者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標	210,000	210,000	210,000	210,000
	実績	177,313	173,100	170,633	156,211
指標選定の理由	学習機会提供し、参加した人数を把握することにより施策目標の達成度を測ることができる。				
最終年度目標の根拠	過去からのデータ主計を基に算出				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		72,703	78,980
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	87	1
一般財源		72,616	78,979
人員数 (人)	正規職員	3.9	0.6
	嘱託職員	10.5	11.4
	臨時職員	8.4	8.4
人員 コスト	正規職員	28,333.5	4,359.0
	嘱託職員	29,704.5	32,250.6
	臨時職員	10,903.2	10,903.2
	計	68,941.2	47,512.8
市民一人当たりの経費		2.7	2.4
総額		141,644.2	126,492.8

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,078	講師謝礼1,444、謝礼170、記念品代外464
11節 需用費	2,131	消耗品費1,739、食糧費81、印刷製本費311
13節 委託費	2,100	世代間情報格差是正事業委託料2,090、シルバー人材センター委託料10
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	13,099	公民分館交付金9,402、地域づくり交付金2,618等
その他	53,295	職員人件費等53,295

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,710	講師謝礼等 2,710
10節 需用費	481	消耗品費等 481
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	13,349	公民分館交付金10,000、地域づくり交付金3,000 等
その他	62,440	職員人件費62,440 等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	学習活動で「教える」「教わる」ことが市民の生きがいになっている。様々な活動を通じて住民間の交流が生まれ、つながりが出来ている。公民分館、地域づくり推進委員会等の活動を支援し、住民主体による地域課題の解決の場となっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	毎年、事業成果について検証を行い、事業内容、広報の方法等について検討している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	各種団体や他課等との積極的な連携による事業実施により、費用の支出を抑えている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設利用者の高齢化や固定化。毎年度実施の事業もあるが、常に内容を検討する。若年層の参加者が少ない。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>地域づくりの小さな拠点として、「学び」を基礎とした「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」を進める。また、他課との連携をこれまで以上に進めていく。</p>		<p>「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」を推進する事業を、他課等との連携を深めながら推進する。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	